

かけぼとけてつぞうしょうかんのんざぞう

懸仏鉄造聖観音坐像

指定種別：市指定文化財

指 定 日：平成 25 年 12 月 24 日

所 在 地：釜石市甲子町（小川観音堂）

制 作 年：室町時代後期

寸 法：円盤 縦 17.5 cm 横 17.5 cm

厚さ 0.5 cm

仏像 高さ 8.5 cm 厚さ 0.3 cm



懸仏鉄造聖観音坐像は、小川観音堂に伝わる懸仏です。室町時代後期のものと思われる、市内鉄造懸仏では最も古いものです。

小川観音堂は、正平 10(1355)年に寺号公認を受け、聖観音菩薩を本尊としています。

この懸仏は、昭和 53(1978)年 5 月に火災にあったため塗装され、仏像部分は金色に塗られています。